

岩手町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>主要地方道岩手平舘線の歩行スペース確保について            当該路線は、岩手町の中心部に位置し、周辺に学校、病院、住宅が密集しており、通勤、通学、通院並びに買い物等の日常生活に欠かせない重要な生活路線として活用されています。</p> <p>大町地区及び柳橋地区については、街路整備事業により歩道が整備されておりますが、そのほかの地区については歩道がない状況となっております。</p> <p>新町城山地区には小学校、保育園があり、通学路でありながら歩道が設置されておらず、朝夕の通勤時間帯では交通量も多いことから、通学・通園等歩行者が非常に危険な状態であります。</p> <p>野口町地区については、平成19年に小学生の死亡事故が発生していることもあり、平成21年度に道路面と側溝の段差解消を目的に、側溝の入れ替え工事を行っていただきました。しかしながら、歩行空間の幅員が狭く未だに安全な通学路とはなっておらず、小学生等が危険な状態で通学している状況となっております。</p> <p>両地区とも冬期間には車道除雪による堆雪により、更に危険な状況となります。</p> <p>つきましては、新町交差点から城山保育園間及び野口町愛宕下地区の歩行スペースの確保について要望します。</p>	<p>御要望の路線については、歩道設置を含めた街路事業を順次施行しているほか、苗代沢橋への歩道橋設置等、交通安全施設の整備を進めています。</p> <p>御要望の新町交差点から城山保育園間及び野口町愛宕下地区の歩行スペースの確保については、平成24年度に実施した「通学路の緊急合同点検」の結果を踏まえ、貴町や地元・警察等と意見交換しながら、歩行者の安全確保の方法など交通環境改善の方策を検討していきます。(C)</p>	盛岡広域振興局	岩手土木センター	C

岩手町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>一級河川北上川河川改修事業の早期整備について</p> <p>平成22年7月17日の豪雨により洪水が発生した一級河川北上川において、県では尾呂部・五日市地区間の河川改修事業を進めており、現在、計画の下流部から着手し、順次施工するとされていますが、完了予定が平成41年度となっております。一昨年度より、用地買収及び支障物件補償に係る地権者との交渉は、町が県から受託して進めておりますが、代替地の確保等、交渉の長期化が予想されます。町が災害関連事業で実施した横沢川は北上川の支流にあたることから、両者の事業が完了してはじめて事業効果が発揮されます。つきましては、再度災害の防止の観点から、改めまして早期改良整備をお願いします。</p>	<p>北上川では、平成22年7月の豪雨被害を受け、平成23年度に広域河川改修事業に着手し、尾呂部、五日市地区の護岸工事や用地取得を進めています。平成26年度は、引き続き尾呂部地区の横沢川合流付近と五日市地区の民部田橋下流及び大坊川合流付近の護岸工事を進めるとともに、ネック部となっている I G R 鉄道橋の架け替え工事に着手しています。</p> <p>貴町には用地取得業務の協力をいただいております。早期に事業効果が発揮できるよう、今後も貴町とともに事業の推進を図ってまいります。</p>	盛岡広域振興局	岩手土木センター	B

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>希望郷いわて国体開催に向けた取り組みについて                      本年8月2日から6日にかけて山梨県で開催された「平成26年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会」において、本町の沼宮内高等学校女子ホッケー部が35年ぶりの優勝、男子ホッケー部が2年連続の準優勝に輝き、多くの町民、県民に深い感動と勇気を与えてくれました。                      チーム強化に多大なるご支援をいただいた岩手県に対し、改めて感謝申し上げます。                      さて、2年後に迫った第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」において本町は、ホッケー競技の会場地となっていることから、その成功に向けて、鋭意取り組みを進めているところであります。岩手県におかれましては、施設整備や国体開催に係る運営費補助について、本大会3分の2、リハーサル大会2分の1の補助率とする予定とのことであり、そのご配慮に感謝申し上げます。                      しかしながら、補助対象経費として備品や仮設物等についてはリースやレンタルなど賃借のみが認められる見込みであり、購入あるいは常設設置は対象外とされています。                      競技用備品の中には、賃借が困難な物品や、国体後に有効活用可能な仮設物等もあることから、これらを一律に補助対象外とはせず、購入あるいは常設とした場合においても、賃借した場合の経費分を補助対象経費として認めていただくなど、柔軟な対応をお願いします。</p> <p>また、本町では、昭和45年岩手国体ホッケー競技会場地として、花いっぱい運動を継続して実施しています。希望郷いわて国体においても、県民運動の一環として、花いっぱい運動を推奨していますが、各市町村が実施しようとしている事業を把握し、県が実施する事業との調整を行い、連携して取り組めるよう、特段の配慮をお願いします。</p> <p>国体開催に当たり、共通する分野(スタッフ衣装、IDケース等)を共同発注することにより、大会運営経費が削減されると考えられることから、県が調整役となり、各市町村が連携して取り組めるよう特段の配慮をお願いします。</p>	<p>【運営費補助対象経費について】反映区分C                      競技用具については、競技を行う選手や来場者等の安全を十分に確保しつつ、国体の競技会開催に必要なものについて整備していくこととしております。                      整備に当たっては、県及び会場地市町村等が現有するものを出来る限り活用することとし、現有の競技用具で不足する場合には、まずは借用により対応し、それでも不足する場合は購入することとしています。                      このような中、先催県における運営費補助制度の取扱いにおいて、競技用具のうち備品の購入については、財産形成につながることを理由に、机、テントのような競技会運営用、ゴールポスト、卓球台のような競技用とも補助対象外とし、借用によるもののみを補助対象としていると伺っています。                      しかしながら、借用が不可能な備品や、借用では納品が間に合わないなど競技会運営に重大な支障を及ぼす恐れがある場合も可能性としてあり得るので、更に調査、検討を進めていきます。</p> <p>【県民運動について】反映区分A                      花いっぱい運動をはじめ、県民運動・市町村民運動の展開にあたっては、県と市町村との協力・連携が必要不可欠ではありますが、効果的かつ効率的な事業実施にあたっては、お互いの役割分担を明確にし、重複や譲り合いのないようにしなければならぬと考えております。                      このため県では、年度当初及び次年度の当初予算編成が始まる前の9月頃に「市町村連絡会議」を開催し、県が当年度に実施する事業や次年度の予算要求の方針をお示ししているところであります。                      これからも、市町村の皆さまには県の方針を事前にお知らせし、市町村の皆さまと一体となって県民運動・市町村民運動を展開してまいりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>【共同発注について】反映区分B                      共通する分野(スタッフ衣装、IDケース等)の製作に</p>	盛岡広域振興局	経営企画部	C、A、B

岩手町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
	<p>については、H21. 3. 30に開催した県準備委員会（現：実行委員会）第3回常任委員会において決定した「県と会場地市町村業務分担・経費負担細目」において、県と市町村がそれぞれ配布対象となる識別支給品を主体的に作成することとしております。</p> <p>しかしながら、ご要望のとおり共同発注を行うことで相当程度の経費削減が期待できること、また先催県においても県と希望する市町村が共同製作を行っている事例もあることから、本県においても各市町村の意向を踏まえながら共同製作の仕組みを検討してまいります。</p>			

岩手町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>岩手県立中央病院附属沼宮内地域診療センターの病床の存続について</p> <p>岩手県立沼宮内病院は、開設以来、長年にわたり地域医療の重要な拠点として、多大な貢献を果たしてきました。しかし、平成23年度に地域診療センターに移行後、町内の入院施設が皆無に近い状況となり、地域住民の医療に対する不安が増大しています。</p> <p>さらに、平成31年度内の開院を目指し計画が進められている岩手医科大学附属病院の矢巾町移転が実現すれば、県央北部と県央南部との医療バランスに不均衡が生じ、県北地域の住民にとっては、ますます生命を守る地域医療体制が大きく損なわれることが懸念されます。</p> <p>このような中で本町は、当該地域診療センターの民間移管に関して、一般入院ベットを確保するため関係法人と協議中ですが、諸般の事情により具体的な進展をみるに至っていない状況にあります。</p> <p>つきましては、本町はもとより、盛岡広域圏北部における貴重な医療施設である岩手県立中央病院附属沼宮内地域診療センターの病床を存続若しくは復活くださるよう切に要望します。</p>	<p>沼宮内地域診療センターについては、危機的な医師不足の中、限られた医療資源のもとで良質な医療を提供するために病床を休止することとしたところですが、こうした状況については現在も変わらないものと認識しております。</p> <p>このため、病床を確保することは困難であり、現経営計画では、現行の体制を基本として、県立病院等相互の役割分担と連携により、地域医療提供体制の確保を図ることとしております。</p> <p>なお、岩手町が進めている民間移管に向けた取組みについては、引き続き医療局としても、必要な支援等連携を図ってまいります。</p>	盛岡広域振興局	経営企画部	C

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>テレビ共同受信施設の施設改修への財政支援制度の創設について</p> <p>本町の山間部などテレビ電波の届きにくい地域では、テレビ放送を受信するために共同受信施設を整備し、組合組織として放送を受信してきました。今回の地上デジタル放送完全移行に際しては、国等による施策を活用し、共同受信施設の新設や既存施設の改修などの対策を講じてきました。</p> <p>しかし、既設の施設では最小限の改修しか行っていないため、組合の保有するケーブルや柱などの施設が老朽化しており、早急に改修が必要な状況となっておりますが、施設の改修費用が高額のため施設改修ができない状況となっております。</p> <p>つきましては、テレビ共同受信施設の維持管理費及び老朽化に伴う施設改修費に対する財政支援制度の創設について要望します。</p>	<p>テレビ共同受信施設組合の施設更新は全国的な課題として捉えており、県では全都道府県で構成される地上デジタル放送普及対策検討会を通じるなどして、国に対し、維持管理費及び老朽化に伴う施設改修費に対する新たな支援制度を創設するよう要望しています。</p> <p>また、県としても、今後、市町村と連携し、県内のテレビ共同受信施設組合の実情の把握に努めるとともに、引き続き、国に対し支援制度の創設について要望するなど対応を検討していきます。</p>	盛岡広域振興局	経営企画部	B